

# 平成30年度

## 石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅲ期）

### 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で4年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

### 第3回、第4回研修会

- 日時 平成30年6月4日（月）、5日（火）9：25～
- 場所 石巻市立中津山第二小学校体育館
- 講師 広島大学大学院教育学研究科  
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



中学校区でMLAの取組状況について情報交換しました。

感情の種類を30種類考え中。



感情を体で表現。  
参加者に当ててもらいます。



#### ☆研修内容

- 4日午前：愛着に課題を抱える子どもの理解と支援
- 4日午後：ピア・サポート概論
- 5日午前：アセスの構造理解と読み取り方
- 5日午後：MLAについての情報交換（中学校区）  
SEL

#### <受講者の声>

◇ 愛着の問題を抱えた子が、学校が居場所となり、楽しく過ごせるように、ピア・サポートやSELをもっと勉強して充実させていきたいと思いました。勉強は、快感情とセットにしないと、身に付かないというお話が心に残りました。

- ◇ 栗原先生のピア・サポートとの出会いの場面で「やってやる」という思いに共感しました。今行っているものの見方を少し変えるだけで、子ども達の大きな安心、成長の場になることが分かり、「やってみたい！」と思いました。
- ◇ 中学校の取組を教えていただき、参考になりました。一人一人のアセスの結果を複数の先生方で見ながら分析し、一緒に対応を考えているところがいいと思いました。MLAについて年間の流れが分かる計画があるところも参考になりました。
- ◇ SELの授業の実際を体験し、人の感情を理解するには、体験と共に、感情語を豊富に知っていることが大切だと改めて知った。情動的な共感を生み出すために、現代では訓練しなければならないという現実を受け止め、指導する立場として研修していきたい。
- ◇ 具体的な活動例をたくさん体験させてもらい良かった。ストレス対処の方法など、教えたことがなかったように思う。怒りやストレス対処の方法も練習が必要だと分かった。



カナダのピア・サポートの活動に驚きの声！

